

一般質問事項一覧

9月10日(月)

質問者	質問方式	質問概要
野村(日本共産党大野市議団)	一問一答方式	<p>1 小中学校再編について</p> <p>○ 教育委員会では、見直しを行うための基礎資料を収集したいとのことから、学校再編などに先行的に取り組んでいる市町への視察経費を計上しているが、視察に当たり、調査する内容は何を重点に調査するのか。</p> <p>○ 小中学校再編の校数・時期・方法などについて見直すとした上で、再編は必要であるとしているが、再編していく基準は、どのように考えているのか。</p>
		<p>2 学校徴収金・小中学生の荷物軽減・就学援助・公費で賄うべき物について</p> <p>○ 教材は、特別高価な物を選定して購入させているということはないとのことだが、他にも給食費や修学旅行費などの保護者負担がある。助成して保護者軽減に努めるべきではないか。</p> <p>○ 教科書のページ数増加などによって、児童・生徒の荷物の重量が増えている。成長期の小中学生の体への影響が気掛かりである。実態調査と対策が必要ではないか。</p> <p>○ お金の有る無しによって、修学旅行への参加、卒業アルバムの購入ができないなどの問題が起こる。修学旅行費の就学援助費との差額分及び卒業アルバム代の支給は必要ではないか。</p> <p>○ PTA会費や資源回収の収益金により、学校で使用するテントやスキー板、部活動のユニフォームなどを、ご厚意で購入いただいたとあるが、本来、公費で賄う物ではないのか。</p>
		<p>3 生活保護世帯のエアコン設置及び電気代支給について</p> <p>○ 冷房器具の購入に必要な費用を支給できるようになったが、全ての生活保護世帯に支給されるわけではない。支給の対象にならなかった世帯への対策が必要ではないか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
永田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>1 観光プロデュースコンテスト等の活用について</p> <p>去る8月8日に開催された越前おおの観光プロデュースコンテストの最終審査を拝見して、県外の大学3件、高校2件と県内の高校1件で、実に斬新で新鮮な内容であり、短期間の間に大野のことを調査し、まとめた内容であった。率直な感想が述べられ、関東圏からの高校生は、大野市は遠い所と感じたことや自然が素晴らしいとの感想で観光文化施設の活用などが述べられた。</p> <p>そこで大学生、専門学校生の部で最優秀となった濁協大学の発表では、重点道の駅「（仮称）結の故郷」が近く、旧蕨生小学校をホテルとして活用するとの内容であった。</p> <p>そこで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旅館業法や許認可に係るさまざまな手続きや障害があると思うが、昨年、大野市の全域が過疎地域に指定されたところでもあり、空き家の活用については、国で民泊の緩和推進がなされる中、公共施設の利活用について、何か方策など必要があると思うが、所見を伺いたい。 ○ 集落単位の集会場を体験施設として、他自治体で移住体験の施設に活用している例もあるようだが、所見を伺いたい。
		<p>2 赤根川、清滝川の改修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 9月4日に福井県を通過した台風21号は、勢力が衰えぬまま大変心配していたところだが、刈り取り前の稲の倒伏など農業の被害があったものの人的被害もなく、最小限に止まったのではないかと存じる。災害対策連絡室の速やかな情報伝達や監視、広報活動により、地域住民の安心安全につながったものと感謝申し上げる。 <p>しかし、このようなときに必ずと言って良いほど、水害が懸念される河川が存在する。</p> <p>水害に関しては小河川の外、大野市街地のほとんどが清滝川と、赤根川に挟まれ、また、恒常的に氾濫し、冠水する状況にあり、これを毎年のように繰り返すということである。これを長期にわたり改善されないことは、個人の財産や水利権が障害となっていることも懸念されるが、石山市長におかれては山崎議長と共に8月7日に平成31年度の福井県への要望活動としても赤根川改修事業の早期着手の要望をされた。流域の市民の安全と被害防止のために、ぜひとも実現していただきたいが、所見を伺いたい。</p>
		<p>3 ため池ハザードマップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県福山市のため池決壊の事例を受けて、下丁ため池をはじめ、市内6カ所のハザードマップが作製された。決壊した際の被害の範囲や避難経路などの情報が示されている。 <p>については、各地区や自主防災組織を通じてなど周知の方法はどのようになっているのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
松田（無党派）	一問一答方式	<p>1 大野市立地適正化計画について</p> <p>立地適正化計画制度の目的は、人口減少・超高齢化社会下において誰もが安全安心、健康、快適に暮らし続けることができるように、コンパクトなまちづくりを目指すとしている。しかし、持続可能な越前おおのを考えるとき、いくつかの疑問点が時の経過とともに出てきていると、私は感じる。</p> <p>この計画は、将来の大野市に大きな影響を与える計画制度であり、慎重な議論を継続すべきと考え、質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 立地適正化計画はさまざまな関係施策と連携する包括的なマスタープランとして策定するとしているが、立地適正化計画の位置付けはどのようになっているのか。 ○ コンパクトなまちの実現に向けて、居住の誘導を図るとしているが、リスク（効果性）についてどのようにお考えか。 ○ まちづくり効果を評価する目標値を、人口密度や地価や要介護認定率で示し、期待される効果を、安定した税収確保や介護給付の増加幅を縮小することとして、具体的な数値で示しているが、他の計画の目標との連動性についてどのように考えているのか。 ○ 今後、立地適正化計画はどのように進められていくのか。 <p>2 持続可能な財政運営について</p> <p>財政の健全化指標が国が定める指標の範囲内であり健全であるとする判断することもできるが、将来に向けて本当に健全かどうかを現状から検証し、真摯（しんし）に改善の行動に移していくことが重要であり、市民と共に共有しながらの節約志向は重要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福井市の財政運営のまずさがマスコミ等で公表されて、結果的に将来にわたって事業の見直しを図るなど大きな関心事になっているが、当市の財政の現状をどのように分析し、将来に向けての課題をどのように捉えているか。 ○ 近年の経常収支の比率についてどのように分析されているのか。 ○ 経常経費充当一般財源の中で、特に節約できる部分についてどのように考えているか。またその対策は取られているのか。

質問者	質問方式	質問概要
梅林（天空おのおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 石山市長の目指す行財政改革について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度決算、平成30年度予算を受け、市長が目指すみんなが大野を好きになる「未来へつなぐまちづくり」に向けて、平成31年度の予算編成の方針と、就任期間における健全化財政に向けての方向性をお尋ねする。 ○ 附属機関・協議会等の在り方に対する市長の見解をお尋ねする。 ○ 市長として職員に求める資質の向上とは、また職員一人一人の力を結集した組織力の向上を目指すために、職員に望むことはどのようなことであるかお尋ねする。
		<p>2 健全な水循環のまちについて</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民の安全安心及び環境保全のための、表流水、地下水、水道水等の水質保全の取り組みについてお尋ねする。 ○ 真名川の河川維持流量の増加に向けて、今後どのように取り組むのかお尋ねする。

質問者	質問方式	質問概要
兼井（天空おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 市民を基点とした行政経営の実現について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行政と市民・民間が一体になり「一緒に挑戦する仲間になる」のためには情報の共有が第一の条件と考えるが、今後の取り組みについてどのように考えているのか。 ○ 補正予算案の「商品等販路拡大支援事業」や「おもてなしセールス事業」「日本一の星空発信事業」による「稼ぐ力」や、関心が高い「より良い教育環境の整備のための学校再編」等は市民との協働があって初めて達成できると考えるが、情報共有についてどのように考えているのか。 ○ 市民ニーズに対応した行政サービスや、社会的に大きな意味のある事業を開発しても、市民は知らない、理解できない行政サービスを利用することはない。市の広報広聴活動の目的は達成できているのか。 ○ 市民を基点とした行政経営には、市民の心理過程を考え、行政サービスの認知と利用、そして自発的な行動を促進する双方向の多様なコミュニケーションを計画、実施、評価、改善し行政への信頼関係の構築につなげる「コミュニケーション戦略」が必要ではないか。 ○ 非公開以外の会議情報は、市民へどのように周知しているのか。 ○ 大野簡易裁判所の移転跡地へ、柳廻社内にある大野市民俗資料館を移転し、保存、活用する計画の進捗（しんちよく）状況と市長の考えを聞きたい。 ○ 越前おおの観光戦略ビジョンにおいて、平成33年の日帰り観光客1人当たりの消費額を2,547円（平成28年度）から5,000円に引き上げることを目標とあるが、越前おおの版DMO設立に向けた検討事業の進捗状況と市長の考えを聞きたい。

一般質問事項一覧

9月11日(火)

質問者	質問方式	質問概要
高岡(天空おのおの)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>○ 行財政改革に対する具体的な施策をお尋ねする。</p> <p>2 教育長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>○ 教育長は、本市における文化、芸術、音楽、スポーツの現状をどのように認識しているのかお尋ねする。</p>

質問者	質問方式	質問概要
宮澤（誠和会・公明党）	一括質問・答弁方式	<p>1 交通網の関連について</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 北陸新幹線が敦賀まで開業を目指しているが、本市として観光客の誘導、地元産業の発展など、どのように考えているのか。 ○ JRから経営分離される並行在来線では第三セクターとなるが、県は県内全市町に第三セクター会社への出資を求めている。本市の考えを聞きたい。 ○ 中部縦貫自動車道は中部圏の交流人口増加に大きな期待が寄せられるが、地元産業発展のためには名古屋市内の地下街にアンテナショップを設けるべきと考えるが、いかがか。 ○ 道の駅は市街地からは少し距離があるが、現在、最近の国道158号の交通量はどうか。また、本市として道の駅の運営の方向性を聞きたい。
		<p>2 教育関連について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の目が児童・生徒に届きにくくなっているのではと感じるが、本市のいじめや不登校の現状はどうか。 ○ いじめや不登校などの要因をどのように考え、問題解決のための研修、指導を教職員にどのように行われているのか。
		<p>3 障害者の雇用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者雇用促進法は1960年に制定され、企業や自治体は一定割合以上に雇うよう義務付けされているが、本市の状況はどうか。 ○ 企業の状況はどうか。そして雇用に関し、企業への助成制度があるが、制度の概要等を聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
松原（新生おおの）	一問一答方式	<p>1 自然災害発生時に市民はどのように対応すれば良いのか</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地方自治体が発表する注意報、警報などは何種類と、どのようなものがあるのか聞きたい。 ○ 大野市でのそれらの運用はどのようになっているのか聞きたい。 ○ 市民の反応はスムーズに対応できているか。 ○ 大野市に建設されているダムはどんな目的で建設されたのか。そのダムの管理責任者はどなたか。
		<p>2 大野市は自然災害発生が少ないと感じますがなぜでしょう</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 未然に災害発生を防いでいる事業とはどのような事業か。 ○ 今後、それらの事業をどのように進めるのか聞きたい。 ○ 防災事業と財政との関係はどのように考えているのか聞きたい。
		<p>3 大野市における教育方針について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「愛情あふれる家庭教育」を強力に推進いただくためには、具体策を聞きたい。 ○ 小中学校における学校運営方針は各校で決めているのか聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
堀田（無党派）	一括質問・答弁方式	<p>1 未来へつなぐまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本遺産認定を契機とした新たな観光ターゲットの具体的な対応は。 ○ 具体的に観光客を呼び込む観光資源としては、何を想定しているのか。その理由や根拠は。 ○ 市長の「越前おおの観光プロデュースコンテスト」、また「第4回大野市子ども議会」の感想は。
		<p>2 重点道の駅「（仮称）結の故郷」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画での拠点コンセプトを、人を結び、時を結び、地域を結ぶ「結の心と文化」肌で感じる「結の故郷 越前おおの」と定め、ターゲットは昭和時代に幼少時代を過ごした方と家族+外国人観光客の方としている。変更は。 ○ 観光案内所は福井県の東の玄関口にふさわしい、外国人対応とし、日本政府観光局（JNTO）カテゴリーⅡレベル（福井県初）で整備しているとしている。変更は。 ○ 越前おおのまるごと道の駅ビジョンでの、市内を回遊することのイメージについて、具体的には。 ○ 生産者・製造者と消費者を結ぶ、大野市道の駅「産直の会」の会員募集状況は。
		<p>3 インバウンドの推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市における外国人観光客数の推移は。 ○ 近隣市町との広域的な観光連携は。 ○ 外国人観光客を呼び込むに当たって、ターゲットとする国は。またそのための仕組みは。 ○ 観光資源や商品、サービス等を開発しても、それらが大野市に存在することを知らなければ、訪れてもらえない。そのための仕組みは。また観光資源や商品、サービス等の開発は。 ○ 免税店などが必要になるが、その考え方は。

質問者	質問方式	質問概要
<p>榮 (日本共産党大野市議団)</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 小中学校の再編について</p> <hr/> <p>○ 市長は、「子どもたちのより良い教育環境の充実のために、小中学校の再編計画は必要である」との認識について質問する。</p> <p>○ 現在の小中学校の存続は、子どもたちにとって良い教育環境でないとの認識なのか。</p>
		<p>2 公共施設再編の取り組みについて</p> <hr/> <p>○ 和泉地域ふれあい交流センター（仮称）については、現在、和泉地区区長会を窓口として、地区住民の皆さまのご意見も聞きながら、実施計画を進めることとしている。なお、センター建設予定地の和泉地域福祉センターについては、元気国体後に解体工事をしたい。との本会議での方針の説明であるが、この事業の地域住民への説明及び説明責任の認識について質問する。</p>
		<p>3 農業問題について</p> <hr/> <p>○ 市長は「米の生産調整」についてと「有害鳥獣対策」について触れられているが、大野市独自の取り組みとしての独自性がないのか質問する。</p>